



13
1961
74





京傳
生十
鑑



京傳作

通油町鶴喜版

遠
161
39

13
1961
74

京傳主十六利鑑序

阿羅漢の形容箇々様々にして鐸とあはせて衣
坐せるあり臥あり或ハ耳聾或ハ笑亦是人間世と
營に一般人の心動もすハ喜怒哀楽迷惑して
種々様々の形容とあり權も靜もさすこれと画
うつし言ふに則此釋史の如方々人書肆
余が愚名と以て這書の戲号とすいとてん
尔云と

寛政十年

己未春

醒世老人京傳識



借越損者



のどかりをいふはこゝろがこれゆゑに
 かりこゝろのちとりのいひとをいふに
 こゝろのうかんといふはこゝろをいふに
 つまじくといふはこゝろをいふに
 借越といふはこゝろをいふに
 こゝろのちとりのいひとをいふに
 こゝろのうかんといふはこゝろをいふに
 つまじくといふはこゝろをいふに
 借越といふはこゝろをいふに
 こゝろのちとりのいひとをいふに
 こゝろのうかんといふはこゝろをいふに
 つまじくといふはこゝろをいふに
 借越といふはこゝろをいふに



引らでかゝんて
 あつてうらなひ
 るとこあつて
 ねんりさう
 うらやま

まるまの
 くらん
 まるま
 まるま
 まるま

貧須磨損者



いんをいふはこゝろをいふに
 須磨をいふはこゝろをいふに
 損をいふはこゝろをいふに
 貧をいふはこゝろをいふに
 いんをいふはこゝろをいふに
 須磨をいふはこゝろをいふに
 損をいふはこゝろをいふに
 貧をいふはこゝろをいふに

いかん
 やけふ



いかん
 やけふ

普羅損者



おとしをよやくとらふん
りて人をもけま
ふんやく人の元日
よふ大いふの
こととんふ
あてかられぬ
いけひを
ゆがられぬ
いふとつ
大いふ
とあつ
おとしをよやくとらふん



おとしをよやくとらふん
りて人をもけま
ふんやく人の元日
よふ大いふの
こととんふ
あてかられぬ
いけひを
ゆがられぬ
いふとつ
大いふ
とあつ
おとしをよやくとらふん

おとしをよやくとらふん
りて人をもけま
ふんやく人の元日
よふ大いふの
こととんふ
あてかられぬ
いけひを
ゆがられぬ
いふとつ
大いふ
とあつ
おとしをよやくとらふん



小利大損者

おとしをよやくとらふん
りて人をもけま
ふんやく人の元日
よふ大いふの
こととんふ
あてかられぬ
いけひを
ゆがられぬ
いふとつ
大いふ
とあつ
おとしをよやくとらふん



おとしをよやくとらふん
りて人をもけま
ふんやく人の元日
よふ大いふの
こととんふ
あてかられぬ
いけひを
ゆがられぬ
いふとつ
大いふ
とあつ
おとしをよやくとらふん

棒陀羅換者



いままゝのまゝにさけはひや
 茶の葉うれいといふ
 玉ちきさかといひを
 のめバ大ふといひを
 あやふといひを
 さる人といひを
 せんといひを
 ぶれていひを
 とのいひを
 さけいひを
 あいといひを
 あるといひを
 さけいひを
 のめいひを
 とのいひを
 ういひを

さきまゝにかけて
 ぶがの津とさく
 そのこころか
 今日大所へとや



まろいといひ

つげのこころ
 かいしといひ

いままゝのまゝに
 さけいひを
 あいといひを
 あるといひを
 さけいひを
 のめいひを
 とのいひを
 ういひを



不薪草酒入山門



ことろいざいけま
 つまにんき
 うまにんき
 ことろいざいけま
 つまにんき
 うまにんき
 ことろいざいけま
 つまにんき
 うまにんき

ことろいざいけま
 つまにんき
 うまにんき



ことろいざいけま
 つまにんき
 うまにんき

愠氣損者



ことろいざいけま
 つまにんき
 うまにんき

多辨損者



十二人の人びとがうそを
つきのあれがうそをい
くさぬをいして
うそをつ
あつとせ
下といふうそをい
くらいらはうそをい
ぬありこめうそをい
のこりうそをい
ことばをい
あひまをい
もや



あつとせ
くらいら
あひま
もや

あつとせ
くらいら
あひま
もや

あつとせ
くらいら
あひま
もや

月の心
くらひの
さびし秋のさ

あつとせ
くらいら
あひま
もや



迷者損者



十六夜月の光を照らして...
あやめさきもろくも...
あやめさきもろくも...
あやめさきもろくも...

悟



八百ていしつ...
かたが...
ま...
かたが...

あやめさきもろくも...
あやめさきもろくも...
あやめさきもろくも...

迷

あやめさきもろくも...
あやめさきもろくも...
あやめさきもろくも...
あやめさきもろくも...



京傳店紙多をこ入...
あやめさきもろくも...
あやめさきもろくも...
あやめさきもろくも...

十六アノ人ト云レバマノマノハ
 先ノ人の云クハカウノ云クハカ
 ンノ云クハカウノ云クハカ
 ナラト云クハカウノ云クハカ
 マノモ一ヨクテ入ク

佛門元自導昏膏
フツ、モン、モ、ヨリ、ニ、ヒ、ク、フ、ン、ボ、ウ、ク、ラ

比論香花方便燈
ヒ、ユ、カ、ウ、ゲ、ハ、ウ、ベ、ン、ト、ウ

相照新圖羅漢像
ア、ヒ、フ、ラ、ス、レ、ン、ブ、ラ、カ、ン、ゾ、ウ

京傳前世一狂僧
ケ、イ、デ、ン、ゼ、ン、セ、イ、イ、ツ、キ、ヤ、ウ、サ、ウ

京山陳八題
ケ、イ、ザン、チ、ン、レ、ン、ダ、イ、ス



山東京傳作

忠臣水滸傳
 此の書は、
 忠臣の生平を
 記し、その忠義
 を讃へ、世に
 教訓をあたへ
 るものなり。
 自作あり

〇京山と云ハマノマノハ
 あり、其の云クハカウノ云クハカ
 ナラト云クハカウノ云クハカ
 マノモ一ヨクテ入ク



